

測定しようとする資質・能力の具体的内容について（様式たたき台）

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>※ 測定しようとする資質・能力について、「～できる」の記述文で具体的に記載すること。</p> <p>※ 義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定しようとする場合にはその旨を記載すること。</p> <p>※ 特にポイントとなる箇所に下線を付すこと。</p>	<p>【設問数】 問（程度）</p> <p>【出題形式】</p> <p>※ 選択式、短答式、記述式の別を記載すること。</p> <p>※ リスニング試験やスピーキング試験で測定する場合はその旨を記載すること。</p> <p>※ 該当するサンプル問題がある場合は、その旨を記載すること。</p>	<p>※ 右記の領域又は事項を記載すること。</p>	<p>※ 学習指導要領における関連項目を記載すること。義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する場合は、中学校学習指導要領等の関連項目を記載すること。</p> <p>※ 高等学校学習指導要領と中学校学習指導要領等の双方に関連する事項がある場合は、双方を記載すること。</p>

※ 原則、各回のテストごとに作成すること。

※ 出題形式の短答式、記述式とはそれぞれ以下のような内容を指す。

短答式：解答にあまり幅の出ない語句や短い文、数値、式などで解答するもの

記述式：自ら解答を考え、文又は文章で解答するもの（1つに限定される正答を書くのではなく、複数の選択肢や考え方、答え方があるものなどについて、自分の考えを明確に書くものを含む。）

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について（様式たたき台）

【国語総合】

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文章に即して、相手や目的に応じ、<u>類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などの使い方を工夫</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 1問程度 【出題形式】 選択式</p>	<p>る〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 B 書くこと</p>	<p>国語総合 2 B 書くこと(1) ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>
<p>・説得力のある文章にするために、<u>文章を組み立て、論を統括する位置を考</u>えることができる。</p>	<p>【設問数】 1問程度 【出題形式】 選択式</p>	<p>B 書くこと</p>	<p>国語総合 2 B 書くこと(1) イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p>

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・〇〇という与えられた条件を踏まえ、 <u>論拠を示しながら、賛成又は反対の立場から自分の考えを書くことができる。</u>	【設問数】 1問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1 (3)	B 書くこと	国語総合 2 B 書くこと(1) イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。
⋮	⋮	⋮	⋮
・論理的な文章について、 <u>筆者の主張とその主張の根拠を捉えることができる。</u>	【設問数】 2問程度 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (1)	C 読むこと	国語総合 2 C 読むこと(1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
・論理的な文章について、△△という与えられた条件に従って <u>要約</u> することができる。	【設問数】 1問程度 【出題形式】 選択式 【設問数】 1問程度 【出題形式】 記述式	C 読むこと	国語総合 2 C 読むこと(1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
・ <u>複数の文章の内容を読み取り、表現の仕方を比較して、それぞれの効果の違いを理解</u> することができる。	【設問数】 1問程度 【出題形式】 選択式	C 読むこと	国語総合 2 C 読むこと(1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
⋮	⋮	⋮	⋮

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・傍約を付した古典の文章について、 <u>文脈に即して文語のきまり</u> （助詞・助動詞などの意味・用法、係り結び、敬語の用法） <u>を理解</u> することができる。	【設問数】 2～3問 程度 【出題形式】 選択式	C の〔 <u>伝統的な言語文化と国語</u> 〕 読むこと	国語総合 2 C 読むこと(1) ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 2〔 <u>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</u> 〕(1) ア 伝統的な言語文化に関する事項 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
⋮	⋮	⋮	⋮

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について（様式たたき台）

【数学Ⅰ】

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>実数と直線上の点が1対1に対応していることについて理解し、実数を数直線上に示すことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問程度 【出題形式】 選択式</p>	(1) 数と式	<p>数学Ⅰ 2 (1) ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<p>・ <u>乗法公式や因数分解の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解ができる。</u></p>	<p>【設問数】 2問程度 【出題形式】 短答式 サンプル問題 1 (1)</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A (2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$</p>
<p>・ <u>複雑な式を簡単な式に帰させ、式の展開・因数分解ができる。</u></p>	<p>【設問数】 4問程度 【出題形式】 短答式 サンプル問題 1 (2)</p>	(1) 数と式	<p>数学Ⅰ 2 (1) イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>
⋮	⋮	⋮	⋮

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・具体的な事象から x と y の関係を $y=ax^2$ の式に表すことができる。</p>	<p>【設問数】 1～2問程度 【出題形式】 短答式</p>	C 関数	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C (1) ウ 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。</p>
<p>・与えられた二次関数のグラフに対する考察を通して、値の変化の特徴を的確にとらえ、<u>数学的に表現</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 1～2問程度 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (2)</p>	(3) 二次関数	<p>数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>・与えられた条件から目的とする二次関数が作成することができるかどうかを判断し、<u>～が成り立つ理由を説明</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 1問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2 (3)</p>	(3) 二次関数	<p>数学 I 2 (3) イ 二次関数の値の変化 (イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>
⋮	⋮	⋮	⋮

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について（様式たたき台）

【コミュニケーション英語Ⅰの例】

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> ある程度まとまりのある文章の説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 	<p>【設問数】 1～2問程度</p> <p>【出題形式】 選択式</p> <p>サンプル問題 1 (4)</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語Ⅰ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 5～6文程度の説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点をとらえることができる。 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などを理解し、～～することができる。 	<p>【設問数】 1～2問程度</p> <p>【出題形式】 記述式</p> <p>サンプル問題 1 (3)</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語Ⅰ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ～～について、……の条件の下で、<u>事実と意見などを区別</u>して内容を理解することができる。 	<p>【設問数】 1～2問程度</p> <p>【出題形式】 選択式</p>	読むこと	<p>コミュニケーション英語Ⅰ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>(2) ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・主に中学校学習指導要領に示される言語材料を用いた<u>伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 5～6問程度 【出題形式】 選択式</p>	<p>読むこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。</p> <p>(3) 言語材料 イ 文字及び符号 ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文法事項</p>
⋮	⋮	⋮	⋮
<p>・ある程度まとまりのある文章を読んで得た情報を簡潔に<u>要約</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 1問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2 (2)</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・学んだことや経験したことに 基づき、～について、<u>つなが り</u>を示す語句を用いて、<u>内容 の要点を示す語句や文</u>を 含む文章を書くことができる。</p>	<p>【設問数】 1～2問 程度</p> <p>【出題形式】 記述式</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サンプル問題2 (3)</p>	書くこと	<p>コミュニケーション英語 I</p> <p>2 内容</p> <p>(1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基 づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意 しながら読んだり書いたりすること。</p>
⋮	⋮	⋮	⋮

※ 本資料は、検討段階のたたき台であり、今後更に検討を進める上で十分変更があり得るものである。